

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和2年度第2回 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会
2 会議の開催日時	令和3年3月23日(火曜日) 午前10時00分～正午
3 会議の開催場所	さいたま市にぎわい交流館いわつき 多目的室
4 出席者名	新井委員長、是澤委員、新委員、大越委員、 加藤委員、清水委員、抜井委員、三次委員、 森田委員
5 欠席者名	池田委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1) 令和2年度の事業実施状況について (報告) (2) 令和3年度の事業計画(案)について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	(1) 令和3年度の事業計画(案)について
10 問合せ先	スポーツ文化局文化部 岩槻人形博物館 電話 048-749-0222 FAX 048-749-0225
11 その他	—

令和2年度第2回岩槻人形博物館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年3月23日(火) 10時～正午
- 2 場 所 にぎわい交流館いわつき 多目的室
- 3 出席者 (1) 委員 (9名) (五十音順)
新井久代委員長、新雅史委員、大越久子委員、加藤三郎委員、是澤博昭副委員長、清水一郎委員、抜井ゆかり委員、三次宣夫委員、森田 由美子委員
(2) 事務局
スポーツ文化局 野口部長
岩槻人形博物館 林館長、川田副館長、宮野参与、今井主幹
菅原係長 (学芸員)、井上主事
※ 関連施設「にぎわい交流館いわつき」からオブザーバーとして出席
大金運営統括マネジャー
(3) 欠席者 (1人)
池田直人委員
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
(1) 開 会
(2) 挨拶 スポーツ文化局文化部長挨拶
(3) 議 事
① 令和2年度の事業実施状況報告について
② 令和3年度の事業計画 (案) について
(4) その他 館長退任挨拶
(5) 閉 会

<議事内容要約>

議事① 令和2年度の事業実施状況報告について

事務局から資料について報告

委員長 報告について、意見をお願いしたい。

委 員 開館により、人形文化に対する理解度・親密度が高まっていると感じており、たいへん良かったと思う。コロナ禍の今でこそ、平和、友好、和み等の大切さについて、人形を介して発信していくことが、人形専門博物館の使命だと考える。

委 員 アンケートの結果を見ると、県外からの来館者が少ない。コロナ禍の影響も強く受けたとは思いますが、もっとPRをした方が良いのではないかと。

委 員 リピーターを増やすためには、来館者の裾野、底辺を広げる必要がある。そのためにも、広報に関しては、年に1回程度、新聞等にインパクトのある広告を出すと、効果的

だと思ふ。

委員 裾野を広げるために、メディア向けのPRツアーや、地域の団体や学校の先生向けの内覧会を企画することも有効だと思う。

委員 拠点ができ、地域活性化に関しても、まち全体の回遊性が図れて良いと思うが、岩槻の人形に携わる事業者からの反響についても知りたい。また、「にぎわい交流館いわつき」の利用者と博物館の来館者との接点、相互利用はあるのか。

事務局 事業者の方からは、博物館の来館者がお店に立ち寄られている、との声もいただいております。まちの活性化の一助になればと考えている。また、人形文化に関するアカデミックな講座を博物館が行い、体験ツアー的なワークショップを「にぎわい交流館いわつき」が行う、という基本的な役割分担を行いながら、相互割引の導入等による両館利用の促進も図っている。特別展開催時には、交流館内の「ヨロ研カフェ」の利用者も増えたと聞いており、相乗効果もあると考えている。

委員長 組合、イベント、自治会の観点から意見をお願いしたい。

委員 博物館開設による、人形に携わる事業者の売上への直接的な影響は、まだまだ少ないと思う。現在は、雛人形もネット販売が中心となり、小さめの3～5万円程度のものを購入する方が増えているが、博物館で本物、良質な人形を観覧し、自分たちも良いものを購入しようとする人が増えてくることを期待している。

委員 まちに飾っている人形や小道具について、訪問者向けにボランティア組織を通じて分かりやすく説明をしていきたい。また県立歴史と民俗の博物館で公開予定の、渋沢栄一にゆかりのある答礼人形の修復に、岩槻の職人が携わったことを伝えていきたい。

委員 来館者を増やすために自治会でも割引券を発行する等意見は出ていたが、コロナ禍による活動自粛のため、これから時機を見て考えていきたい。

館長 コロナ禍という、たいへん悪い環境のなかで、それなりの結果を残せたのではないかと考えている。博物館の駐車場は昼頃には満杯となり、隣接する日光御成道の人の動きも増えてきたように感じている。とはいえ、まだまだ課題も残っており、ご指摘いただいた内容を参考に、組合、自治会、商店会等との連携を密にし、工夫をしながら、来年度の事業を進めていきたい。

委員長 意見等も出尽くしたので、議事①について、終了とする。

議事② 令和3年度の事業計画（案）について

事務局から資料について説明

委員長 事業計画（案）について、意見をお願いしたい。

委員 広報については、SNSの導入が挙げられているが、総花的ではなく、訴求対象を40～50歳代の文化に興味のある層に絞った方が良いのではないかと。

委員 アンケートを見ると、チラシを見て来館される人が多いので、年齢層と訴求ツールが合うように精査して広報を実施した方が良い。30歳以上の女性にはクラフト系（何かを作ること）がはやっているので、体験等との連動があれば面白い。

委員 企画展によって、広報、集客の訴求層を変えてみるのも良いのではないかと。

- 委員 プレス内覧会ではなく、ロコミの元になる人たち、例えば「にぎわい交流館いわつき」の職員、関連委員会等の委員、商店会の人たちを博物館に呼んで、社交の場としての内覧会を開けば、今後の人脈作りになり、館の周知、運営にもプラスになると思う。
- 委員 ワークショップでは、企画展示ではできない、人形に対する知識欲を満たすような専門的なものがあれば良い。人形の専門博物館として、格や評価を上げる効果がある。
- 委員 集客だけを考えると、博物館は成り立たないが、あまりにも専門的過ぎても問題がある。何年間かの長期的な視点で、何回か専門的な企画を行い、展示のバリエーションを増やしていくような取り組み方が良いのではないか。
- 館長 広報、集客のターゲットをどこに絞っていくべきか、また、専門性の度合いを含めて、どのような展示を行っていくのかについては、これから解決していかなければならない、重要な課題であるので、今後とも御指摘をいただきたい。SNSに関しては、若い世代にも、ぜひ博物館を見てほしいので、今後仕掛けていきたいと考えている。
- 委員長 意見等も出尽くしたので、議事②について原案のとおり承認とし、終了とする。
以上で議事はすべて終了とする。

1 展示事業

(1) 令和2年度事業の成果

開館年であった令和2年度はコロナ禍による臨時休館（令和2年3月2日～6月1日）で大きなスケジュール変更を余儀なくされ、企画展2本と特別展1本開催の運びとなった。来館者数や関連イベントもコロナの状況に大きな影響を受けたが、来館者の総数は37,925名（令和3年2月末まで）に達した。

①企画展「開館記念品展 雛人形と犬宮・天児・遣子」

会期：2020年2月22日（土）～3月1日（日）

入館者数：10,732名

2020年7月11日（土）～8月23日（日）

入館者数：4,711名（展示室見学：4,342名）

関連行事：コロナウイルス感染防止のため、ギャラリートーク2回のみ実施し、他は中止

②特別展「こどものかたち—創作人形の世界—平田郷陽・野口光彦を中心に—」

会期：2020年10月3日（土）～11月23日（月・祝）

入館者数：9,560名（展示室見学：8,803名）

関連行事：講演会①「ハッピーのうたわ：野口光彦を中心に」10月10日

今井陽子氏（東京国立近代美術館工芸館主任研究員）

講演会②「『創作』のありか—郷陽、光彦、堀柳女をめぐって」11月8日

本橋浩介氏（佐倉市立美術館副主幹・学芸員）

担当学芸員によるスライドトーク（4回）

③開館一周年記念企画展「天野家の雛祭り—人形が彩る商家の暮らし—」

会期：2021年3月23日（火）～5月5日（水・祝）

関連行事：ワークショップ「雛道具の世界 組香をやってみよう～源氏香～」（4月11日に延期）

スライドトークは開催を検討中

※緊急事態宣言とその延長を受け、当初1月30日から大きく会期がずれ込んだ。

チラシ・ポスターも再印刷をした。

各展覧会 ポスターデザイン



2 教育普及事業

(1) 博学連携（学校見学）

コロナ禍の影響で見学中止も多かったが、最終的に19校の学校見学（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学）があった。コロナ対策で展示室の見学案内ができないため、会議室で人形製作映像の視聴、質疑応答、クイズを出すなどして対応した。見学申し込みの対応、段取り、ナビゲーションは管理係で担当した。12月25日に校外学習下見会を実施して今後の学校見学について概要説明を行った。また、R3年度用にA4サイズのリワークシートを作成した。

(2) ボランティア構築

学校見学対応やワークショップ補助に向けてのボランティア組織の立ち上げメンバーを募集し、4名をコアメンバーとして選出した。10月～12月まで全13回（計26時間）のオリエンテーション、講座、ワークショップ補助と準備、解説実践などを組み合わせた研修プログラムを実施した。3月の学校見学において、会議室における解説を担当した。

(3) ワークショップ

①実験・体験型ワークショップ にんらぼ なかのヒミツ・桐粉編

日程：2020年11月14日（土）午後2時～3時30分

講師：松口一栄氏（顔職人）／参加9名（小学生）

桐の粉の粘土をこねてカタチを作る。伝統的な人形の「中身」を体験し、知る講座。

②つくろう、ボチ袋 ～天神様ゆかりのウンドリ編～

日程：2020年12月6日（日）午前10時～12時

講師：当館学芸員／参加6名（小学5年生以上）

お正月の前に、当館所蔵の郷土玩具「鷲」と「天神の土人形」を展示室2に展示し、鷲をモチーフとしたカラフルなボチ袋作りにチャレンジした。

(4) 常設展示ギャラリートーク

開館記念日が2月22日のため、毎月22日を「にんばくの日」と定め、常設展のギャラリートークを実施。



(3) ①の様子

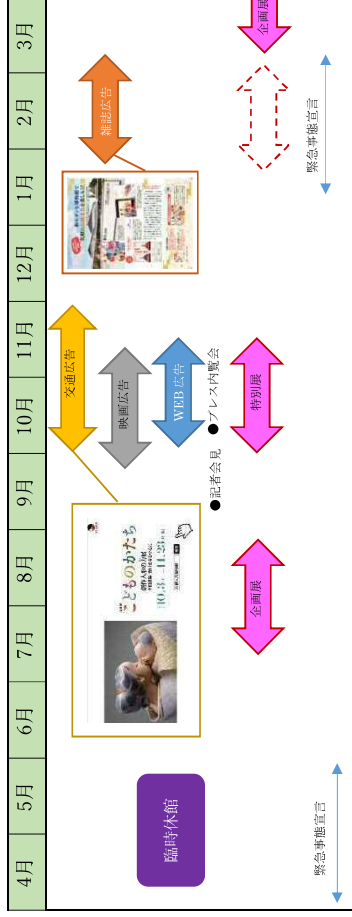


(3) ②の様子

令和2年度の事業実施状況について

3 広報・プロモーションの実施

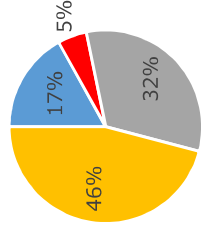
(1) 主な実績



(2) 来館者の分類

- データ
 - ア 夏の企画展アンケート結果【入館者4,711人のうち回答者461人(約10%)】
 - イ 秋の特別展アンケート結果【入館者9,560人のうち回答者636人(約5%)】
- 分類
 - ・性別では、女性が若干多い。(ア 男性54%、女性59%)
 - ・年代では、50代以上が半数を超える。(ア 50代20%、60代~37%、イ 50代11%、60代~66%)
 - ・どこから来館されたかは、岩槻区、岩槻区を除く市内、県内が各30%程度と偏りなく来館いただいている。
 - ・人数では、2~4人、1人、5人以上の順が多い。(ア 68%、25%、6% イ 56%、38%、6%)

(3) メディア露出の状況 207件(当館把握)



■ 新聞 ■ テレビ・ラジオ ■ 雑誌等 ■ WEB・SNS

4 地域との連携

(1) 特別展時

【開催期間限定】

- 「着物で岩槻」
 - ・着物で岩槻人形博物館に来館すると観覧料が無料になる。
- 「岩槻人形博物館」「にぎわい交流館いわつき」「いわつきポイントカード事業協同組合」相互割引
 - ・岩槻人形博物館及びにぎわい交流館いわつきの認知度向上・来館促進、地域商店の活性化のため、3者が連携して割引を実施。
 - 例1 いわつきポイントカード事業協同組合の「たまぼんカードの提示」等
 - ⇒ 岩槻人形博物館で観覧料が「割引料金」になる。
 - 例2 岩槻人形博物館の「年間パスポートまたは当日観覧券半券の提示」
 - ⇒ 割引協力でソフトドリンクなどのサービス提供
 - 例3 にぎわい交流館いわつきの「体験イベントへの参加」
 - ⇒ 岩槻人形博物館で観覧料が「割引料金」になる。

【継続】

- 「株式会社東横インとの提携」
 - ・東横インでの当館の周知協力、東横イン会員への当館観覧料の割引(団体料金適用)を開始。



(2) 春の企画展以降

【開催期間限定】

- 「着物で岩槻」
 - ・着物で岩槻人形博物館に来館すると観覧料が無料になる。
- 「にぎわい交流館いわつき」による事業連携
 - ・「にぎわい交流館いわつき」が岩槻人形博物館の企画展に関連し、ヘチマコロロンに係るパネル展を実施。
- 「岩槻人形博物館」「埼玉県立歴史と民俗の博物館」相互割引
 - ・日米親善人形交流に際して岩槻人形を同館で展示することによる、市内の回遊、観覧者の増加を目的として、両者が連携して割引を実施。(実施期間：令和3年3月23日(火)~5月16日(日)を予定)

- 例1 NHK大河ドラマ特別展「青天を衝け」～渋沢栄一のまなざし～(埼玉県立歴史と民俗の博物館)の観覧券を提示 ⇒ 岩槻人形博物館で観覧料が「割引料金」になる。
- 例2 岩槻人形博物館の「年間パスポートまたは実施期間中の観覧券」を提示 ⇒ 埼玉県立歴史と民俗の博物館の特別展の観覧料が「割引料金」になる。

○「人形のまち岩槻 町屋めぐり」

- ・岩槻人形博物館の企画展延期も踏まえ、岩槻駅東口周辺では「人形のまち岩槻 まちかど雑めぐり」に引き続き、「人形のまち岩槻 町屋めぐり」が開催されている。(各店舗等で人形等を展示)

【継続】

- 「岩槻人形博物館」「にぎわい交流館いわつき」「いわつきポイントカード事業協同組合」相互割引
 - ※(1)と同じ内容。期限なし。

令和3年度の事業計画(案)について

1 展示事業

(1) 令和3年度事業スケジュール

開館1周年を迎えた令和2年度末も2度目の政府による緊急事態宣言のため、イベント中止措置が取られた。そのため、雑祭りの企画展がずれ込み、当初の予定から展示数を1本減らしてスケジュールを組み直した。

変更前	2021年			令和3年度			2022年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
展覧会スケジュール		1/20(土)～2/21(日) 【45日展】 「江戸時代の雛人形」 （御所人形展）		4/24(土)～6/6(日) 【59日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		7/22(木)～8/26(日) 【45日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		10/9(土)～11/28(日) 【49日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		1/28(土)～3/27(日) 【45日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）						
常設展示物	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	
特設展示物	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	

変更後	2021年			令和3年度			2022年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
展覧会スケジュール				3/25(木)～4/26(日) 【40日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		7/17(土)～8/29(日) 【40日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		10/9(土)～11/28(日) 【49日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）		1/28(土)～3/27(日) 【45日展】 全品展 「御所人形展」 （御所人形展）						
常設展示物				● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	● 御所人形展	
特設展示物				● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	● 江戸時代の雛人形展	

(2) 令和3年度 展覧会の概要

①企画展「御所人形展 輝く肌の魅力」

会期：2021年7月17日（土）～8月29日（日）
担当：主 蟹沢真弓/副 菅原千華
概要：令和2年度に開館記念作品展のII期として開催する予定であった展覧会。令和2年度には開催中止となったが、製作物まで完成していたため、令和3年ゴールデンウィーク期の開催といたした。しかし、再び予定をずらして夏期の開催を予定している。



御所人形 裸置

出品点数：約37点

関連行事：①講演会「江戸美人の流行通信―白の美意識（仮）」

講師：村田孝子氏（美奈考古学研究所）

刊行物：無し

②特別展「人形をひのき舞台へ―西澤笛畝とその周辺の人々（仮）」

会期：2021年10月9日（土）～11月28日（日）

担当：主 菅原千華/副 岩田明日香

概要：当館コレクションの礎を築いた西澤笛畝（1889-1965）は、日本画家、人形玩具研究家・収集家として活躍し、人形の文化芸術振興に寄与した。笛畝の日本画作品や玩具絵、著書、古写真、コレクションを通じ、その人物像と業績を振り返る。



西澤笛畝 タイ・バンコクの玩具店にて

関連行事：①講演会

講師：濱田琢司氏（関西学院大学教授）

② 講座

担当学芸員

③ ワークショップ

④ 展示解説

刊行物：図録（A4 70～80ページ程度、価格未定）

③企画展「雑祭り展（仮）」

会期：2022年1月29日（土）～3月21日（月・祝）

担当：主 蟹沢真弓/副 平井美江

概要：館蔵品のなかから、近代に作られた創作人形作家による雛人形や絵画に描かれた雛人形等を中心に紹介する。人形では雛人形も多く手掛けた野口光彦をはじめ、白澤会のメンバークラスによる雛人形や様々な人形を展示し、絵画では西澤笛畝や清水晴風のほか、おもちや絵等も含めて展示する。



野口光彦「雑児雛」

関連行事：①講演会、②ワークショップ、③展示解説

刊行物：パンフレット（A4、4～8ページ程度、無償頒布予定）

2 教育普及事業

(1) 博學連携 (学校団体見学)

コロナ対策で展示室の見学案内ができないことが見込まれるため、会議室で人形製作映像の視聴、質疑応答、クイズを出すなどに対応する。見学申し込み申請などの対応、段取り、ナビゲーションについては管理係が担当する。令和3年度の学校団体見学はすでに20校の申込みがある。

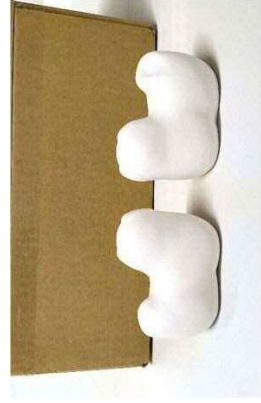
(2) ボランティア

令和2年度のボランティア組織立ち上げメンバー4名をコアメンバーとして、令和3年度もボランティア募集を行い、人数増を目指す。研修を再び実施し、学校団体見学時の会議室における映像視聴の案内、解説やワークショップの準備、当日の補助等を行う。

(3) ワークショップ

令和3年度もコロナの状況を見ながらの実施となるが、以下のワークショップを予定している。

- ①実験体験型ワークショップ にんらぼ 胡粉編
昨年度実施した桐壱編の続編。伝統的な人形には欠かすことができない「胡粉」とは何かを知り、触れ、あつかってみる講座。
- ②大宮・ふじ雛などの絵付け体験ワークショップ
岩槻や越谷など埼玉県東部地域はダルマなど張り子の生産地としても知られてきた。その張り子の技法を現在風になれんじした紙工芸で大宮やふじ雛の生地を作り、これに絵付けをしてオリジナルを作る。
- ③展覧会・常設展示に関連したワークショップ
展覧会や常設展示の関連行事としてのワークショップの頻度をできるだけ上げていく。



左上：ボランティアによる映像視聴案内の様子
右上：ふじ雛見本
右下：犬管絵付けの型

3 広報・プロモーションの実施

(1) 趣旨

人形のまち岩槻において、地域資源である人形文化の振興を図るための拠点施設としての岩槻人形博物館では、令和3年度は年間来館者数を7.7万人(目標)と設定しています。

さいたま市内外の顕在的・潜在的利用者に魅力を訴求し、さいたま市岩槻人形博物館への来館促進を目的として、広報・プロモーションを引き続き実施します。

(2) プロモーションの実施

令和3年度は東京2020大会時期における夏の企画展、秋の特別展をメインとした広報・プロモーションを実施する。

項目	想定内容
交通広告等	車内、駅での動画等を活用した広告等
WEB広告等	WEBやSNSなどを活用した広告等
SNS投稿	公式SNSの立ち上げ、投稿支援等
その他	訪日外国人向け 等

関東、特に埼玉県内を主なエリアとして実施

4 地域との連携

(1) 継続

- 「株式会社東横インとの提携」
- 「岩槻人形博物館」「にぎわい交流館いわつき」「いわつきポイントカード事業協同組合」相互紹介

(2) 特別展期間

- 「着物で岩槻」

(3) その他

- 岩槻駅の周辺事業に関わる庁内5部署と連携し、人形のまち岩槻「着物で岩槻」